

整形外科・リハビリテーション科

診療科の紹介

当院は、救命救急センターを併設していることから、重度外傷が多く、また小児救急・小児総合医療センターも併設していることから、小児の骨折症例が多いことが特徴といえます。このように当院の整形外科は救急医療とともに発展してきました。今後も、当院の使命である救命救急医療、小児救急医療、災害支援医療の一役割を担いながら、市立病院ならではの地域に根ざした、地域住民に貢献出来る医療を目指し診療を行なって参ります。

2019年からは新体制となり5名の医師が診療にあたっています。関節外科・手外科・外傷の各分野で専門性の高い医療を提供しております。またリハビリテーション科では、PT10名・OT5名・ST2名で、早期からのリハビリテーションを強化的に行なっております。

診療科の特徴

■関節外科

関節外科を専門とする医師が、膝および股関節の変形性関節症に対する関節温存手術(寛骨臼回転骨切り術、高位脛骨骨切り術)や人工関節置換術を行なっております。人工股関節置換術は、前外側アプローチによる最小侵襲手術(MIS)をバイオクリーンルームで行なっています。軽度の変形性膝関節症の場合は、単顆人工関節置換術を行ないます。また、麻酔科医の協力のもと、術後の痛みをできるだけ減らすよう努めています。

■手外科

日本手外科学会専門医が、橈骨遠位端骨折や手指・手根骨骨折などの手の外傷治療に加え、リウマチ手の機能再建、キーンベック病などの手根骨壊死、母指CM関節症などの変形性関節症、肘部管症候群や手根管症候群などの絞扼性末梢神経障害、腱鞘炎、デュピュイtron拘縮、良性の骨軟部腫瘍など幅広い手術を行ないます。

令和4年度 診療実績

令和4年度は、712件の手術を行ない、右肩上がりに入院患者数、手術件数は増加しております。(手術症例一覧は2022.4.1～2023.3.31の一年間の集計)

分野	症例・検査・手術	数(年間)
人工関節	人工膝関節置換術	29
	人工股関節置換術	28
	人工骨頭挿入術(股)	56
	脛骨近位骨切り術	1
	第一足指外反症矯正手術	1
腫瘍	四肢軟部腫瘍摘出術	1
	骨腫瘍切除術	4
スポーツ	アキレス腱断裂手術	3
	関節鏡下半月板切除術	3
	関節鏡下半月板縫合術	2
	関節滑膜切除術(肩、股、膝)	3
手外科	手根管開放術	10
	神経移行術	7
	神経剥離術	3
	腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む)	18
	腱縫合術	5
	靭帯断裂形成手術 指(手、足)その他靭帯	1
	関節滑膜切除術(手、肘、指)	1
	デュピュイtron拘縮手術	1
	ガングリオン摘出術	3
外傷・その他	関節形成術(肩、股、膝、胸鎖、肘、手、足、肩鎖、指)	2
	骨折経皮的鋼線刺入固定術	47
	骨折観血的手術	271
	観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの)	7
	骨内異物(挿入物を含む)除去術	88
	偽関節手術	2
	変形治癒骨折矯正手術	2
	化膿性又は結核性関節炎搔爬術	4
	関節脱臼観血的整復術	2
	関節内骨折観血的手術	30
上記以外	四肢切断術	3
	観血的関節授動術(肩、股、膝、胸鎖、肘、手、足、肩鎖、指)	2
	観血的関節固定術(肩、股、膝、胸鎖、肘、手、足、肩鎖、指)	5
	骨盤骨折観血的手術	1
	一時的創外固定骨折治療術	9
	デブリードマン	1
	寛骨臼運動術	1
	滑液膜摘出術	2
	筋内異物摘出術	1
	骨折非観血的整復術(大腿)	1
合計	骨部分切除術	2
	骨移植術	5
	創傷処理	29
	腸骨翼骨折観血的手術	2
	骨切り術	1
	腱切離術	1
	皮膚、皮下腫瘍摘出術	5
	腐骨摘出術	3
	靭帯断裂縫合術	3
	712	

スタッフ紹介



副院長
岡部 聰
おかべ さとし



整形外科主任部長
目貫 邦隆
めぬき くにたか



整形外科部長
栗之丸 直朗
くりのまる なおあき



整形外科部長
越智 宣彰
おち のぶあき



整形外科副部長
大久保 友貴
おくぼ ゆうき